



西ノ京

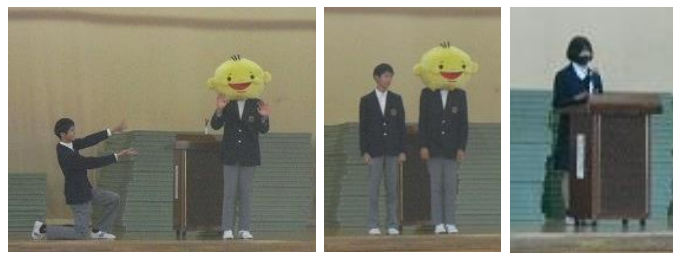
学校教育目標 「心豊かで しなやかに 生きる力 の育成」

京都市立西ノ京中学校
学校だより ⑧
令和5年(2023)11月27日
校長 藤井 泉

★★★後期「生徒会」始動★★★

11月1日(水)に生徒会立会演説会・本部役員選挙が行われ、新本部役員が決まりました。11月13日(月)には、新生徒会本部役員と各学級役員の認証式を実施しました。ここまで生徒会を引っ張ってきてくれた旧本部役員の皆さん、本当にご苦労様でした。今年度は総合的な学習の時間の発表会、合唱祭、体育祭など、学年を超えて交流する行事も予定通り実施することができました。こうした行事の成功には、旧本部役員のリーダーシップや生徒会本部役員を支えながら、活動のよき見本を示してくれた三年生の力があります。

認証式は、先輩たちが培ってきた西ノ京中学校の伝統や文化を後輩に引き継ぐ大切なセレモニーでもあります。1・2年生のみなさんが、新本部役員のリーダーシップのもと創意工夫して、さらに素晴らしいものにし、3年生から受け取ったバトンを次の世代にしっかり継承してくれることを期待しています。



🍁幼児とのふれあい体験(3年)🍁

3年生が家庭科の授業で「幼児とのふれあい体験」を実施しました。とても優しい表情で、小さな子どもたちに絵本の読み聞かせをしたり、一緒に遊んだりしていました。



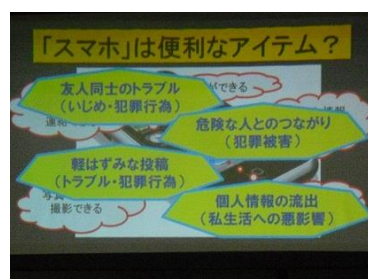
●○○●土曜学習会 ●○○●

11月18日(土)、学校運営協議会の方々のご協力のもと定期テスト前の土曜学習会を実施しました。生徒たちは、それぞれの課題に集中して取り組んでいました。



■■■2年 非行防止教室■■■

11月24日(金)4限市教委生徒指導課より講師の先生をお招きして、2年生が非行防止教室を実施しました。中学生を取り巻く犯罪やSNSの安全な利用について、事例を紹介しながら、丁寧にお話いただきました。



講演の最後に「自分のことを大切にしてください」「自分のことを好きになってください」「一旦立ち止まり考える余裕を持とう」「一歩踏み出す勇気を持とう」というメッセージを伝えていただきました。講演を受けて、代表生徒からは、お礼の言葉が伝えられました。

講演に続いて、中京署の方にお越しいただき、自転車についての交通ルールの説明を受けました。標識やイラストを見ながら、ルールを守って安全に自転車を利用することの大切さを改めて確認することができました。



「しなやかな道徳」公開授業(2年)

本校が2年間の「しなやかな道徳」の研究指定(京都市教育委員会)を受け、今年で2年目となります。これまで、西ノ京中ブロックの各小学校と連携を図りながら「生徒の自己肯定感を高める」をテーマに道徳の授業研究に取り組んできました。そして、11月9日(木)5限には「ふれあいトーク」(京都市教育委員会生涯学習部)とのコラボで、



2年生が「地域参加型」による学年道徳の公開授業を実施しました。立場の異なる様々な年齢層の大人の方々にグループに入っていただき、意見を交流する中で、子どもたちは自分の考えを深めることができました。ご協力いただいた全ての関係者の方々に心より感謝申し上げます。

***** 生徒の振り返り *****

●今回の授業を通していつもと違った雰囲気の中で授業をし、またゲストの方に来ていただき、緊張感のある授業となりました。普段はクラスの中でしか道徳をしないので、学年全員とゲストの方となると、普段とは違った意見がたくさん出てきたし、聞くことも出来ました。また、年代の違うゲストの方に来ていただき、昔からの伝統の大事さを教わりました。同じ年齢の人と話し合っても、なかなか出てこない意見がゲストの方から聞いて貴重だなと感じました。そして、西ノ京中学校の一員として、これからの学校生活をどのように送っていきたいかも考えられました。私は、今までの先輩方が作ってこられた伝統を守って、プラスαさらに良い西ノ京中学校にしていきたいなと思いました。

●ゲスト(ずっと年上の方)の話聞いて面白かった。生きている時間も年代も全然違って言葉に説得力があったし、学ぶべきところばかりだった。部活でお世話になっている方が卒業生インタビューを受けていたことは驚いた。学校生活を送った場所へ、今度は支える側として帰ってくるというのは、すごいことだと思う。学校は楽しいだけではないけれど、嫌なことだけでもないと改めて気付いた。だから、楽しい!を自分から見つけられるようにしたい。その発見を自分で終わらせるのではなく、クラスメイトや友達をはじめとした周囲にいる人たちに広められたら、もっと良いと思う。

***** ゲストの感想 *****

●「西ノ京が好きだ!」という思いがひしひしと伝わってきました。卒業生の話から、子どもたちが、今の自分たちの行いは、学校の未来だけでなく、自分の将来にもつながっているという学びの言葉を聞き、素敵な発見だと思いま

た。全力で何事にも取り組み、悔いのない中学校生活になることを期待しています。

●中学2年生の真っすぐな視線がとても気持ち良く、こちらの背すじもピンとなりました。まじめに皆さん自身のことや今後のことを話しておられたので、今後の西ノ京中学校をこれからも見守らせていただきたいと感じ、これからも楽しみになりました。ありがとうございました!

●中学生と話す機会があまりなかったので、とてもいい経験になりました。みなさんととてもよく考えて、西ノ京中学校の将来像について意見されているのを見て、すごいなど感心していました。とても楽しい時間をすごせたとし、私もたくさん学ぶことができたと思います。

HANAモデル研修会

11月16日(木)放課後に、本校で「HANAモデル」の研修会を実施しました。「HANAモデル」は、本市として全市共通の取組に位置づけられており、事故



で亡くなられた児童のお名前を冠し、子どもたちの命を守りきるため、『事故の未然防止』と『緊急時の対応』に適切に取り組めるよう、教職員一人一人の対応力と学校全体としての組織力を高めるための仕組みを構築する「実地訓練」です。救急車の要請、ダミー人形やAEDを使っでの応急手当など、実際の場面を想定して、教職員が連携を取りながら、実地訓練に臨みました。訓練の後には、課題や改善点を話し合いました。事故を未然に防ぐことが何より重要ですが、緊急時に慌てず、適切に対応できるように日頃から備えることの大切さを改めて確認することができました。

大学連携学生派遣の実証事業

本年度、本校は「運動部活動地域移行等に向けた実践事業」に応募し、陸上競技、卓球、女子ソフトテニスの3つの部活動についてびわこ成蹊スポーツ大学の学生が休日の部活動の技術指導に来てくれています。

11月25日(土)は、京都市教育委員会より、奥野史子委員が本校に部活動の視察にられました。時折、冷たい雨が降る中、学生や顧問の話に熱心に耳を傾けていただきました。「楽しくスポーツができることが大事」と笑顔でおっしゃっていたことが印象的でした。



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「**京都はぐくみ憲章**」を実践しましょう!

